令和8年度（2026年度）北海道防災総合訓練（第1回）

○ 目 的

北海道地域防災計画に基づき、北海道、防災関係機関、関係市町村の共同により、大規模な地震・津波災害を想定した訓練を実動で行うことにより、災害時における応急対策活動能力の向上を図り、北海道の災害対応力を強化することを目的とする。

○ 訓練日程・主要会場

令和8年9月1日(火)　増毛町、留萌市

○ 主催等

●主　催　北海道防災会議　　●共　催　留萌管内8市町村、沼田町、幌加内町

○ 訓練内容

1 訓練想定　北海道留萌沖（FO6モデル）を震源とする、マグニチュード7を超える大地震が発生し、日本海沿岸地域に大津波が発生

2 訓練実施項目

■ 情報伝達訓練
- ○防災情報システムを活用した市町村への情報伝達・情報共有
- ○各種手段（防災無線、戸別無線、エリアメール等）を活用した住民への情報伝達
- ○臨時災害放送局による防災情報の発信、訓練実施状況の中継、住民周知

■ 避難訓練
- ○高齢者等避難行動要支援者への避難支援
- ○避難者が携帯するGPSで避難経路や時間等のデータを取得
- ○避難場所から避難所への人員輸送

■ 避難所運営訓練
- ○避難所の開設・運営要領の習得
- ○高齢者等避難行動要支援者や外国人観光客の受け入れ要領の習得
- ○防災講話
  「増毛の特性を踏まえた逃げるまでと逃げてからを意識する災害対策」
  講師　日本赤十字北海道看護大学　教授　根本昌宏
- ○段ボールベッド組み立て訓練・簡易トイレ研修
- ○防災関係機関による防災物品等の展示

■ 広域避難訓練
- ○広域避難の実施手順（広域避難の協議、準備会議、避難所開設等）の習得
- ○避難者の移動手順（移動方法、広域避難の案内、名簿の作成等）の習得

■ 救出救助訓練
- ○ヘリによる緊急搬送（被災地域からの救急搬送、孤立地域からの住民救出）
- ○自衛隊、海保、道警、消防等の連携による情報共有、海上漂流者の捜索・救助

■ 医療搬送訓練
- ○ヘリから救急車への患者の引き継ぎ・搬送

■ 情報収集訓練
- ○航空機による留萌管内沿岸部の情報収集
- ○ドローンによる被害状況等の情報収集
- ○避難所・ヘリ等運航調整所等でのStarlinkの活用

■ ヘリ・ドローン等の運行調整訓練
- ○ヘリ等運航調整所の設置
- ○ヘリ・ドローン等の運航調整要領の習得
- ○関係機関（ヘリ、ドローン、艦船等）間の情報共有

■ 物資輸送訓練
- ○陸自ヘリによる緊急物資の航空輸送
- ○民間トラックによる緊急物資の陸上輸送
- ○海保巡視船による孤立地域への非常用物資の海上輸送
- ○民間ドローンによる物資輸送
- ○新物資システム（B-PLo）の活用

○ 参加機関等　計61団体（うち市町村10団体）　約700名

【北海道（1）】
総務部危機対策局、総合政策部地域創生局、保健福祉部総務課・地域医療推進局・福祉局、経済部観光局、北海道立動物愛護センター、空知総合振興局、上川総合振興局、留萌振興局

【市町村（10）】
留萌市、増毛町、小平町、苫前町、羽幌町、初山別村、遠別町、天塩町、沼田町、幌加内町

【北海道防災会議構成機関等（20）】
北海道総合通信局、北海道開発局、第一管区海上保安本部、
北海道管区行政評価局旭川行政監視行政相談センター、陸上自衛隊北部方面総監部、
海上自衛隊大湊地区総監部、北海道警察本部、NTT東日本株式会社、日本郵便株式会社、
北海道電力株式会社、KDDI株式会社、株式会社NTTドコモ、ソフトバンク株式会社、北海道放送株式会社、
株式会社エフエム北海道、株式会社FM NORTH WAVE、株式会社STVラジオ、公益社団法人北海道看護協会、
一般社団法人北海道薬剤師会、公益社団法人北海道トラック協会

【災害時協定締結企業（14）】
イオン北海道株式会社、一般社団法人日本建設機械レンタル協会北海道支部、
一般社団法人日本コミュニティ放送協会北海道地区協議会、一般社団法人日本産業・医療ガス協会、
一般社団法人日本UAS産業振興協議会（株式会社レンタコム北海道）、株式会社セコマ、
公益社団法人隊友会北海道隊友会連合会、公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター、
全日本ロータス同友会北海道ブロック、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、北海道キッチンカー協会、
北海道コカ・コーラボトリング株式会社、YBデジタルインフラ株式会社、WOTA株式会社

【その他協力機関（16）】
アキレス株式会社、榎本商事株式会社、株式会社阪急交通社、株式会社ムラカミ、太陽誘電株式会社、
武田産業株式会社、テルウェル東日本株式会社、日本セイフティー株式会社、北海道JRAT(DoRAT)、
北海道電気相互株式会社、矢崎化工株式会社、楽天モバイル株式会社、留萌消防組合、増毛町消防本部、
増毛町立増毛小学校、増毛町立増毛中学校
※上記については、主要訓練項目に協力いただいた機関を掲載

○ 参加者の声（避難所運営訓練における参加住民へのアンケート集計結果）

■ 全般
・本訓練を通じ、実際に災害が起こった際の行動や環境を想定したと回答しており、ほぼ全ての回答者が防災意識の向上に役立ったと回答。

■ 訓練で最も印象に残った訓練項目
1：避難訓練　1：防災講話（避難訓練と回答同数）　3：段ボールベッドの組立

■ 今後取り入れて欲しい訓練項目
1：救急法（AEDの使用等）　2：宿泊訓練　3：ペット同伴避難訓練

■ その他自由意見（抜粋）
・防災に関して、今まで知らなかった事項について知識を習得することができた。
・災害は「いつ起きるか分からない」という意識を高めることができた。
・増毛町は地震等の災害は少ないだろうと思っていたが、今回の訓練に参加して意識が変わった。
・日頃から防災を意識した準備が必要だと実感した。
・関係機関による展示を通じて、様々な防災グッズや防災に関する情報を知る事ができ、参考になった。
・せっかくの機会なので、もっと多くの町民が参加出来る方法の検討が必要だと思った。

令和8年度（2026年度）北海道防災総合訓練（第1回）の主な様子（主要会場）

救出救助訓練：留萌港沖海上・増毛町・雄冬地区

道警ヘリによる
海保巡視船への着船

海保ヘリによる
海自護衛艦への着艦

被災地域からの救急搬送

孤立地域からの住民救出

医療搬送訓練：留萌市

被災地域からの急患の引渡し

救出した海上漂流者の引渡し

ヘリ等運行調整：留萌市

ヘリ・ドローン等の
運行調整・情報共有

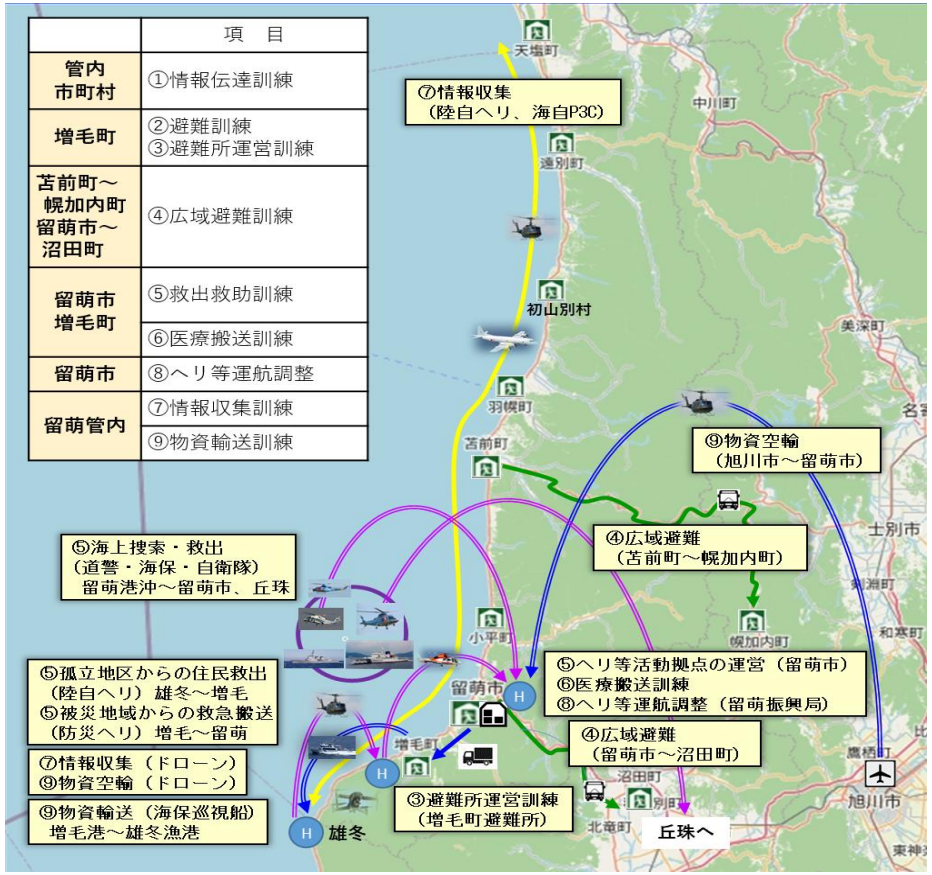
スターリンクを用いた
通信環境の構築

避難訓練：増毛町

外国人観光客への避難支援

津波を想定した高台への避難

	項　目
管内市町村	①情報伝達訓練
増毛町	②避難訓練 ③避難所運営訓練
苫前町～幌加内町 留萌市～沼田町	④広域避難訓練
留萌市 増毛町	⑤救出救助訓練
	⑥医療搬送訓練
留萌市	⑧ヘリ等運航調整
留萌管内	⑦情報収集訓練
	⑨物資輸送訓練



情報収集訓練：増毛町・小平町

道警ドローンによる情報収集

民間ドローンによる情報収集

ヘリによる情報収集

沿岸部被害の把握

物資輸送訓練：留萌市・増毛町・雄冬地区

陸自ヘリによる物資空輸

防災備蓄倉庫での物資積載

孤立地域への海上物資輸送

ドローンによる物資空輸

避難所運営訓練：増毛町（増毛町文化センター）

シェイクアウト訓練

スターリンク設置研修

有識者による防災講話

臨時災害放送局の設置

関係機関の防災物品展示

炊き出しの配食

外国人観光客の受け入れ

避難所用テント設置

段ボールベット組立研修

災害対応型自販機の実演

関係機関の防災物品展示

評価員による講評